

Target 1 人・文化を育む

●不登校対策の柱「白石きぼう学園」開校

不登校に悩む児童生徒が、自分の良さや特徴に気づき、社会的自立に向かうことができる学校として立ち上げ、家庭、地域、行政などと連携しながら協働で教育活動を推進します。

●今後の保育や学校教育のあり方を総合的に検討する「学校教育・保育審議会」

人口減少・少子化が急激に進行していることから、審議会の答申を踏まえ、本市の幼児教育・保育や小中学校教育のあり方に関する方針を検討します。

●「白石市総合型地域スポーツクラブ」の活動支援

既存のスポーツ関連施設を活用するとともに、生涯スポーツを楽しむことができる環境の充実を図ります。



Target 2 みんなで地域づくりを進める

●協働のまちづくりの推進

「地区計画」の策定を支援するとともに、地区計画を策定した地区が活用できる「人と地域が輝く未来共創交付金制度」を活用し支援します。

●市民と行政の情報共有

SNSや動画配信などのデジタルツールを活用した情報発信を強化し、わかりやすい情報発信に努めます。

●行政のデジタル化の推進

デジタル技術を活用した効率的で効果的な事務事業の実施を推進し、市民の利便性の向上と業務の効率化を図るため、行政手続きのオンライン化を進めます。



Target 3 暮らしをともに支え合う

●ベビーファースト活動宣言

子ども・子育て支援のさらなる強化を図るため、「すくすくベビー券」を増額し、1歳6カ月児相談時に絵本の贈呈を始めます。

●インフルエンザ予防接種費用助成

「季節性インフルエンザ」と「新型コロナウイルス感染症」の同時流行を防ぐため、引き続き生後6カ月から中学3年生、65歳以上の高齢者を対象に行います。

●地域医療体制の充実・健康づくりの推進

医療法人仁誠会によって管理運営されることとなる公立刈田総合病院が、これまでと同様にみやぎ県南中核病院との「仙南地区地域医療構想連携プラン」を推進し、地域住民のための病院としての役割を果たしていくため、仁誠会と連携しながら病院運営に取り組みます。



令和5年度 施政方針 主要事業紹介

2月20日、山田裕一市長が第448回白石市議会定例会で施政方針演説を行い、令和5年度の市政運営の基本的な考え方を明らかにしました。今月号では、その内容と本年度の主立った事業をお知らせします。

社会経済活動の正常化へ

令和2年度から続く新型コロナウイルス感染症の感染拡大は、あらゆる面において甚大な影響を及ぼしてきました。昨年の春以降は、ウィズコロナの下での社会経済活動の正常化が徐々に進み、政府によって感染症法上の位置づけを、本年5月8日から、現在の「第2類」から季節性インフルエンザなどと同じ「第5類」に変更する方針が決定されるなど、ようやく日常生活を取り戻す道筋が見えてはきましたが、依然として警戒しなければならぬ状況が続いています。多くの市民の皆さんに協力いただき、ワクチン接種事業は、従来株に引き続き、オミクロン株対応2価ワクチンの接種を開始させていただきました。今後も、市民の皆さんの暮らしと経済における新型コロナウイルス感染症の影響を最小限に食い止められるよう、関係機関と連携し、感染拡大防止とウィズコロナの下での社会経済活動の継続などに取り組んでまいります。

原材料価格上昇への対策

新型コロナウイルス感染症への対

市民の皆さんと共に

本市の目指す将来像「人と地域が輝き、ともに新しい価値を創造するまちしろいし」の実現に向けて、「ひとづくり」「地域力の向上」「新しい価値の創造」を基本的視点として、市民一人一人がその個性や能力を発揮しながら、地域づくりの担い手として活躍するとともに、新たな視点でさまざまな地域資源や魅力を発見し、育て、高め合うことで、新しい価値を創造し、まちへの誇りと愛着を持って暮らしていくことができるまちを目指します。

応が長期化する中、ロシアによるウクライナ侵攻を背景とした国際的な原材料価格の上昇に加え、円安の影響などから市民生活に深刻な影響を及ぼしています。こうした事態に対処するため、本市では新型コロナウイルス対策事業として、市内中小企業を支援する「事業継続支援金事業」や宿泊施設の利用を促進する「宿泊事業者応援事業」をはじめ、コロナ禍における原油価格・物価高騰対策のため、「新型コロナウイルス経済対策割増商品券事業」や「商品券配布事業」などを実施し、市民生活と地域経済の回復を図ってきました。